

高島平地域まちづくり説明会 (板橋区・UR都市機構)



令和6年1月 板橋区 まちづくり推進室 高島平まちづくり推進課
UR都市機構 東日本賃貸住宅本部 高島平再生事務所 事業計画課

- 1) 『高島平地域 交流核形成 まちづくりプラン』
(案)について
- 2) ご意見の募集について(パブリックコメント)
- 3) 区・URからお知らせ

板橋区ホームページのご案内



← 高島平地域
交流核形成
まちづくりプラン
のページ

パブリック →
コメント
のページ



『高島平地域 交流核形成 まちづくりプラン』(案) 目次

1章 課題・特徴と再生に向けた考え方

- 1 都市再生の第一歩として
- 2 まちの課題と特徴
- 3 都市再生に向けた考え方

2章 交流核における都市づくり

- 1 都市づくりの視点
- 2 都市基盤の基本方針
- 3 都市機能の基本方針

3章 都市づくりの実現方法

- 1 実現に向けた考え方
- 2 分野横断的な取組

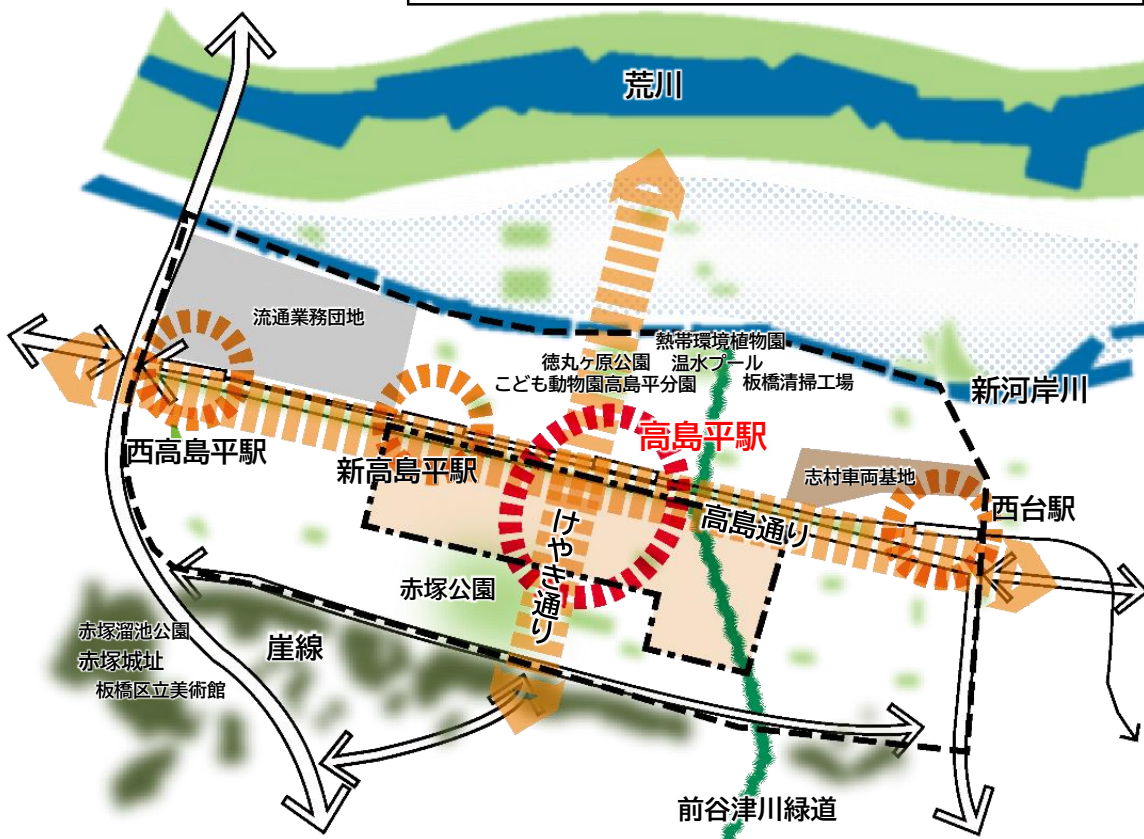
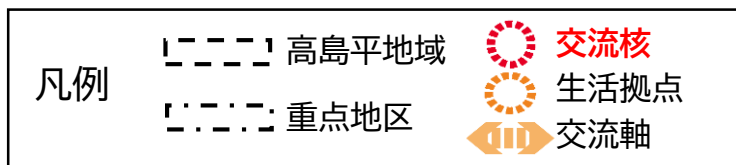
4章 スケジュール

- 1 連鎖的都市再生の考え方
- 2 連鎖の展開イメージ
- 3 連鎖のスケジュール

資料編

都市再生の第一歩として

<高島平地域における**交流核**>



高島平地域グランドデザインから整理してきた考え方を踏まえ、高島平駅を中心とする交流核エリアで、都市再生の第一歩をスタートします。

約50年の歴史で培った特徴や課題を踏まえつつ、社会変化や新たな技術をしなやかに取り入れ、高島平らしい豊かな暮らしを次世代につなぐために。

高島平地域の顔として、多様な活動がつながり、重なりあう、魅力的な交流核を形成することで、地域全体の都市再生を力強くリードしていきます。

まちの課題

①駅前機能の不足

高島平駅周辺は、地域の活動と交流の中心となる地域交通結節機能や商業・業務・良好な宿泊機能等の都市機能の集積が不足しています。

②防災上の懸念

荒川氾濫時は、深さ5m以上、継続時間2週間以上の浸水が想定されており、安全な避難やライフラインの確保、避難の長期化への備えといった対策が求められています。

③顕著な高齢化

高島平二・三丁目では、少子高齢化が急速に進行し、地域の活力低下が懸念されています。また、高齢者向けの医療や福祉サービスのニーズが高まっています。

④にぎわいの創出

社会や地域住民のニーズの変化に対応し、地域内外から人を呼び込むような、魅力的な施設やサービスが不足しています。また、多様な活動や交流を生むにぎわいの拠点や人の回遊を促すような仕掛けが求められています。

⑤機能の分離

まちの骨格を成す道路、鉄道、緑道等によって空間の連続性が途切れ、まちとしての一体性が損なわれています。また、複合的な用途が立地しにくい都市構造となっています。

まちの特徴

①都心へのアクセス

駅に近いエリアにまちが形成され、都心にダイレクトでアクセスできるなど、立地条件に恵まれています。

②人口集積

団地をはじめとする多様な住宅が計画的に整備され、生活利便施設が立地するなど、長年にわたり人口集積が行われてきました。

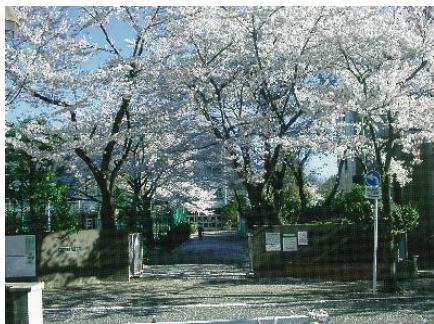
③豊かなみどり

けやき通りの街路樹や高島平緑地、団地内に至るまで、約50年の歴史を持つみどりが面的に広がり、グリーンインフラとして地域の貴重な資源となっています。

④成熟したコミュニティ

約50年にわたり培われてきた成熟したコミュニティが形成されており、公共施設や屋外空間を活用した地域イベントやコミュニティ活動が活発に行われています。

生活の継続性や居住の安定への配慮



旧高七小



高島平まつり



公有地の活用事例



高架下空間の活用事例

①住み続けられるまち

良好な居住環境を守りつつ足りない機能を補うなど、公共施設整備を含めて段階的にまちづくりを進め、お住まいの方が引き続き安心して住み続けることができるまちを実現します。

②地域の魅力を大切にしまち

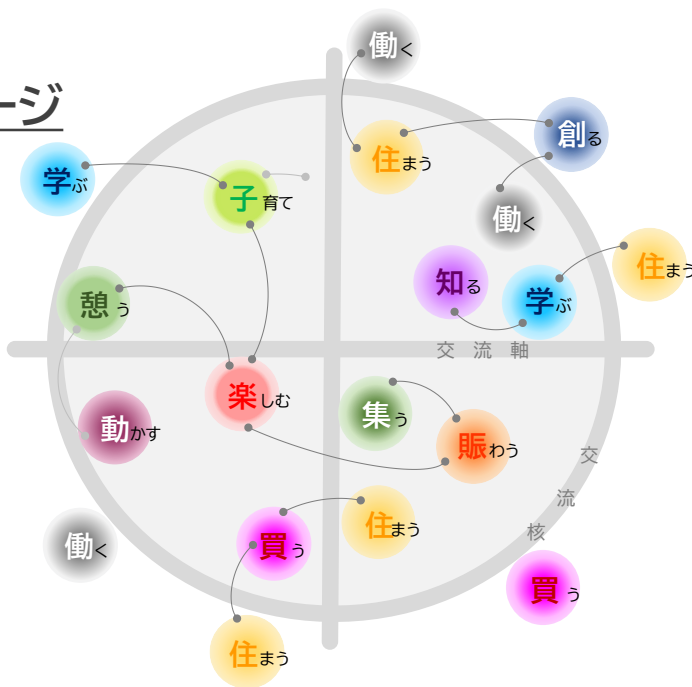
約50年の歴史を踏まえて、地域の資源や魅力を大切にしながら、これからの高島平にふさわしい、全ての人の願いに応える、柔軟性と可能性に満ちたまちを実現します。

③みんなでつくる持続的に成長するまち

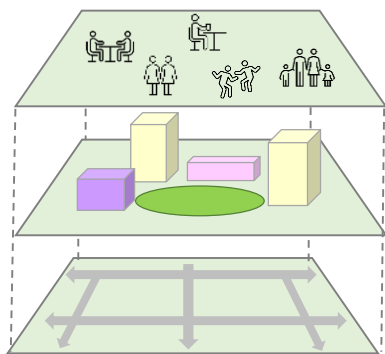
成熟した豊かな地域のコミュニティを活かしながら、高島平に関わる全ての人々が主役となり、みんなで協力しながら、ともに持続的に成長していくまちを実現します。

都市づくりの視点

多様な活動の つながりイメージ



交流核の構成イメージ



人々の活動
(住まう・集う・学ぶ・働く など)

都市機能:活動の場
(住宅・商業・公共施設 など)

都市基盤:活動を支えるインフラ
(交通・防災・環境・みどり など)

高島平が次の世代にとっても誇りと愛着を持てるまちであり続けるために、

- ・多様な世代が健康に住み続けられるまち
- ・創造的な文化やにぎわいがあふれるまち
- ・災害への備えがあり地球にやさしいまち

をめざして、交流核での都市づくりを進めます。

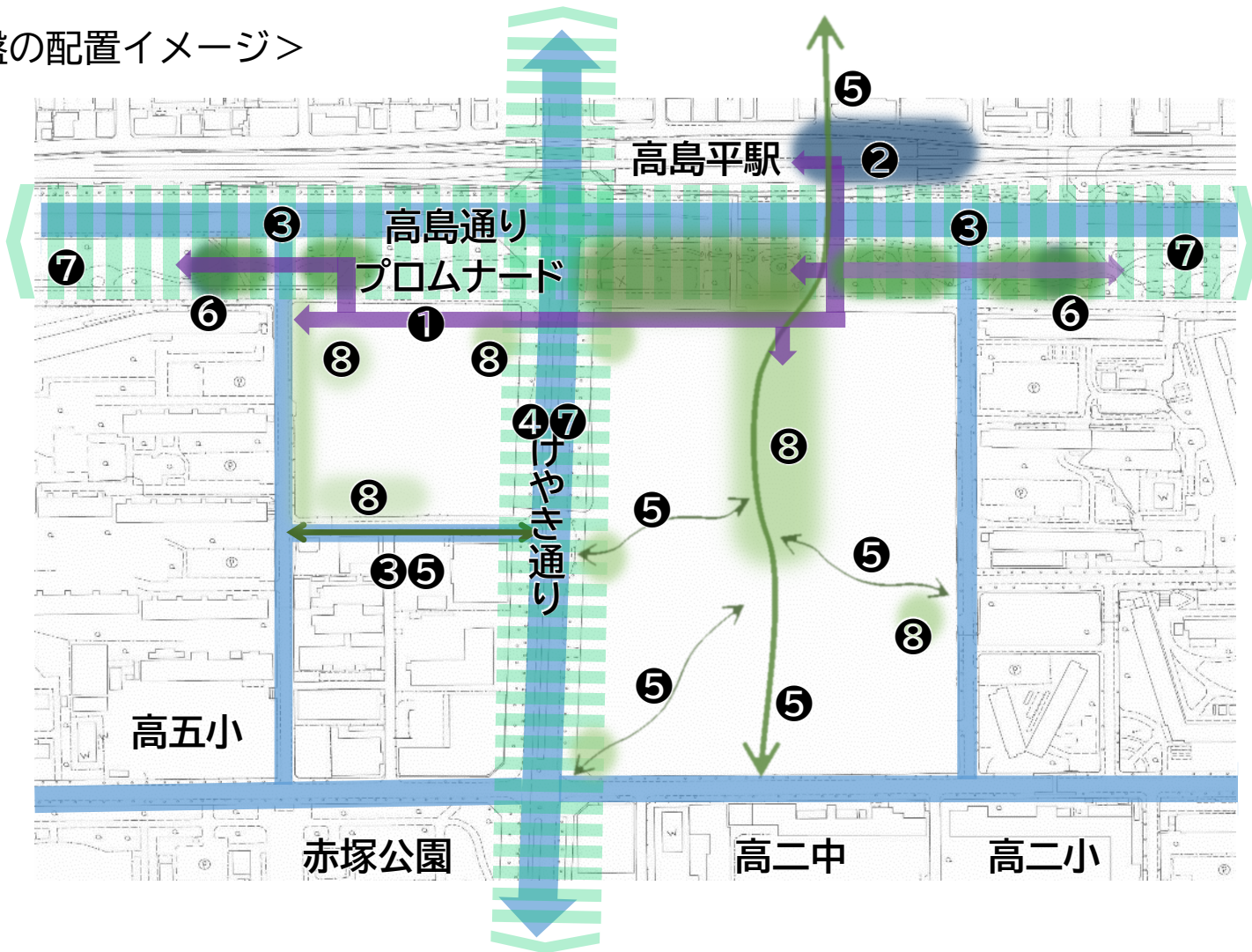
軸となる緑地や道路空間を活用しながら、駅の南北やけやき通りの東西を一体的な歩行者空間でつなぐことで、回遊性が高く居心地の良い「人中心のまちづくり」を推進します。

高島平らしさを感じる居心地の良い空間の中で「多様な活動がつながり合う」ことで、地域内外の交流が生み出される姿をめざして、活動を創造し、育み、支える視点を大切にしながら、都市機能や都市基盤のあり方を検討します。

都市基盤の基本方針

- (1)ウォーカブルなまちの実現
- (2)みどり豊かなまちの形成
- (3)災害にも強い安心・安全なまちの整備

<都市基盤の配置イメージ>



都市基盤の主な整備内容

① デッキネットワークの構築

駅とまちをつなぎ、誰もが移動しやすく、水害時にも機能する将来的な拡張も見据えたペDESTリアンデッキを整備する。

② 駅前空間の再整備

改札前の高架下空間を再整備し、ペDESTリアンデッキと一体となった、駅前にふさわしい空間を形成する。

③ 道路ネットワーク

地域内交通を円滑にするため、高島通りへのアクセス性の向上や相互通行化など道路ネットワークを再構築する。また、ペDESTリアンデッキ・立体的な公園による歩車分離を実現する

④ けやき通りの再整備

広い歩行空間を活かし、誰もが快適で安全に利用できる歩きやすい道路空間への再整備に加え、道路空間と沿道建物の活用によるにぎわい形成に資するため、けやき通りからの車両進入を抑制する。

都市基盤の主な整備内容

⑤歩行者ネットワーク

高島平駅の南北や、二・三丁目等の東西を繋ぐ、連続した誰もが歩きやすく、回遊性の高い歩行者ネットワークを形成する。

⑥駐輪場の再整備

交流核内への自転車の流入を抑制し、歩きやすい空間としながらも、自転車を活用しやすい環境を整備する。

⑦みどり豊かな公共空間

プロムナードとけやき通りを中心とした、今あるみどりを活かした居心地が良い公共空間の整備とエコロジカルネットワークを形成する。

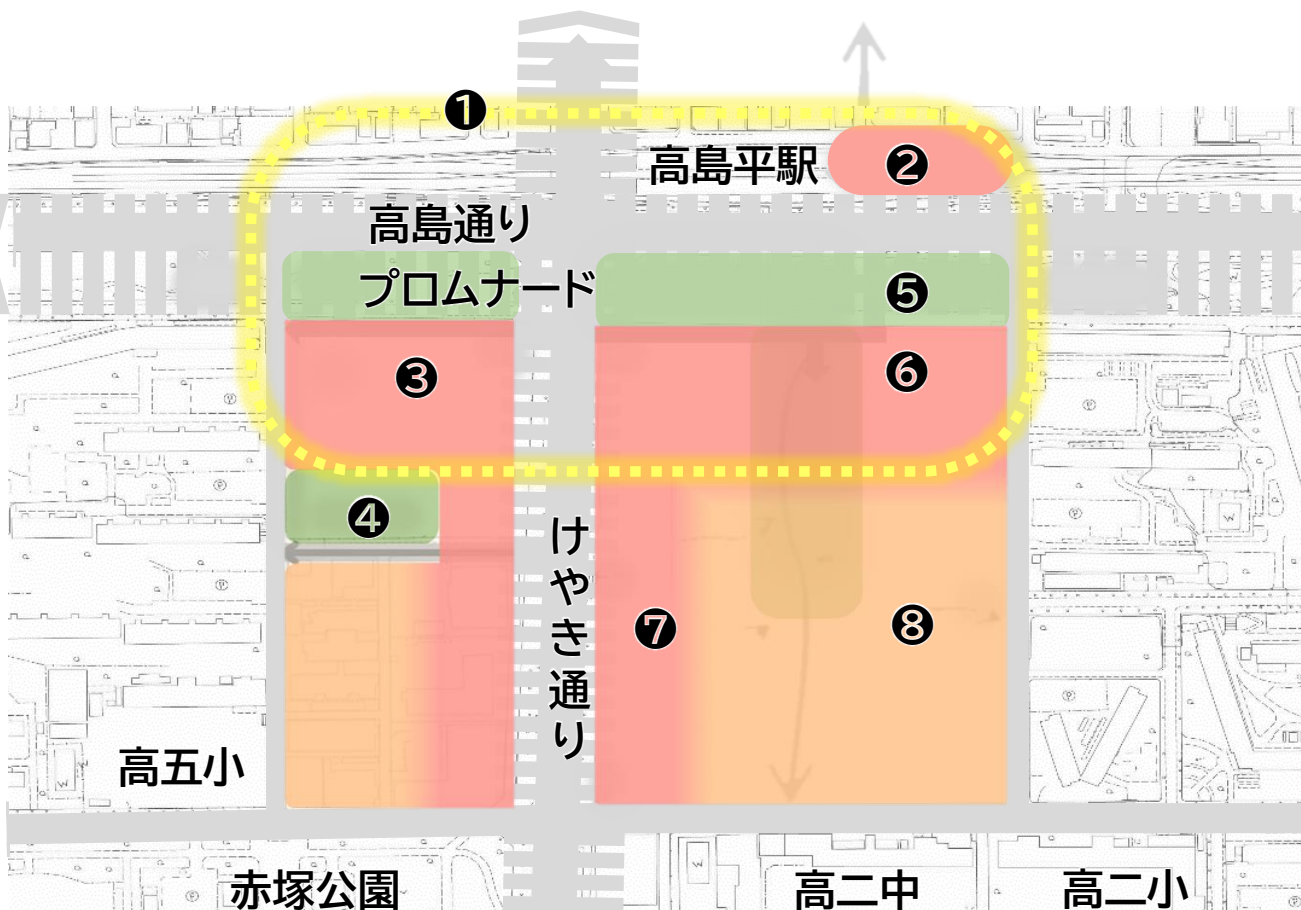
⑧公共空間とつながる街区内空間

人々の交流の場となり、災害時にも活用できる、公共空間とつながりをもたせる街区内空間を整備する。

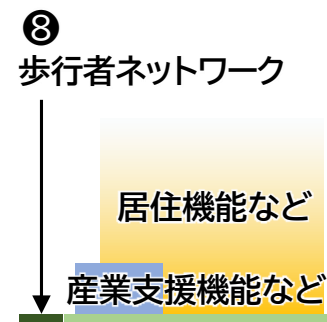
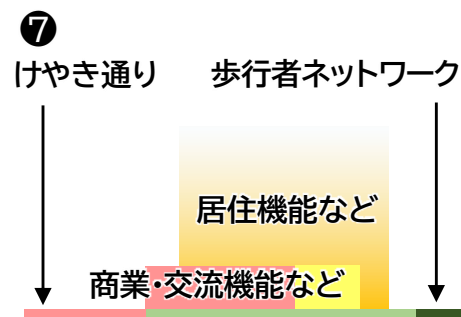
都市機能の基本方針

- (1)子育て世帯に選ばれる機能の充実
- (2)創造的な文化をつむぐ機能の充実
- (3)多様な世代が住み続けられる機能の充実

<都市機能の配置イメージ>



主要な箇所の断面イメージ



都市機能の主な整備内容

① 駅前拠点エリア

高島平駅とプロムナードを中心として、再整備地区・駅周辺エリアと一体的ににぎわいを生み出し、地域の魅力を向上させる交流機能や公共公益機能を積極的に配置して、地域の顔となる拠点を形成する。

② 高架下エリア

まちの玄関口として、駅に必要な機能に加えて、高架下等を活用し、高島平のまちづくりの情報発信や、まちの魅力を向上させる交流機能を配置する。

③ 再整備地区

旧高島第七小学校を連鎖的都市再生の起点として活用し、居住の安定と生活の継続性に寄与する機能を誘導する。屋外空間には、交流を生み出す人々の活動の場となり、災害時には避難にも活用できる防災性の向上に寄与する機能を誘導する。

④ 再整備地区(暫定的な活用)

旧高島第七小学校の校庭が担っていた、地域の交流の場としての機能を残し、人々の活動をつなぐための空間を確保する。

⑤ プロムナード

プロムナードを活用し、みどりの保全や緩衝緑地帯の機能を維持しながら、子育て世帯の定住に向けて、子どもの学びの場として、興味や感性を育てる機能を配置し、屋外空間と一体的に整備する。駅周辺エリアと一体的ににぎわいを生み出す交流機能を誘導する。

都市機能の主な整備内容

⑥ 駅周辺エリア(公共公益ゾーン)

子育て世帯の定住に向けて、プロムナード(東側)と一体となって、文化的で創造的な活動を支える**文化交流機能**や、住民の生活の質の向上に資する**公共公益機能**を配置する。

⑦ 駅周辺エリア(けやき通り沿道ゾーン)

けやき通りに面する部分を中心に、屋外空間と連携した**まちのにぎわいの形成**や、交流人口の増加に資する機能を誘導しつつ、地域住民の居住の安定に資する**住まい**や、子育て世帯の定住化を促す機能など、さらなる**連鎖とミクストコミュニティの実現**に向けた**居住機能**を誘導する。

⑧ 駅周辺エリア(複合居住ゾーン)

歩行者ネットワークと**交流機能・共創機能**を連携させながら、お住まいの方々の居住の安定に配慮しながら、**多様な世代が住み続けられる住まい**や、子育て世帯の定住化を促す機能など、さらなる**連鎖とミクストコミュニティの実現**に向けた**居住機能**を誘導する。

都市計画の考え方

① 駅を中心とした 拠点の形成

公共機能を始めとした多様な機能が集積する駅前拠点エリアを形成し、デッキネットワークでつなげていきます。

連鎖的都市再生に合わせて、交流核の計画的な土地利用転換と駅前拠点エリアの土地の健全かつ合理的な高度利用により、都市機能・都市基盤の更新と充実を図り、地域の課題となっているにぎわいの形成、まちの高経年化への対応、地震・水害対策の推進等に取り組んでいきます。

② 多様な機能を 受け入れる 土地利用の誘導

交流核にふさわしい多様な機能が誘導できるよう、都市基盤の整備にあわせた段階的な都市計画変更等を検討するとともに、高島平に多くある既存の建物ストックも、柔軟に活用できるようにします。

③ 良好な住環境の保全

交流核の形成にあたり、地区計画などの手法を活用し、高島平の特徴となっているみどり豊かな景観等を活かしながら、良好な住環境を保全します。

高島平未来都市公共サービス構想 (高島平地域都市再生実施計画から加えた視点)

公共施設は駅前拠点エリアに立地することを基本に、高島平未来都市公共サービス構想に基づきまちづくりと連動して更新し、地域の魅力や価値、生活の質を高めていきます。

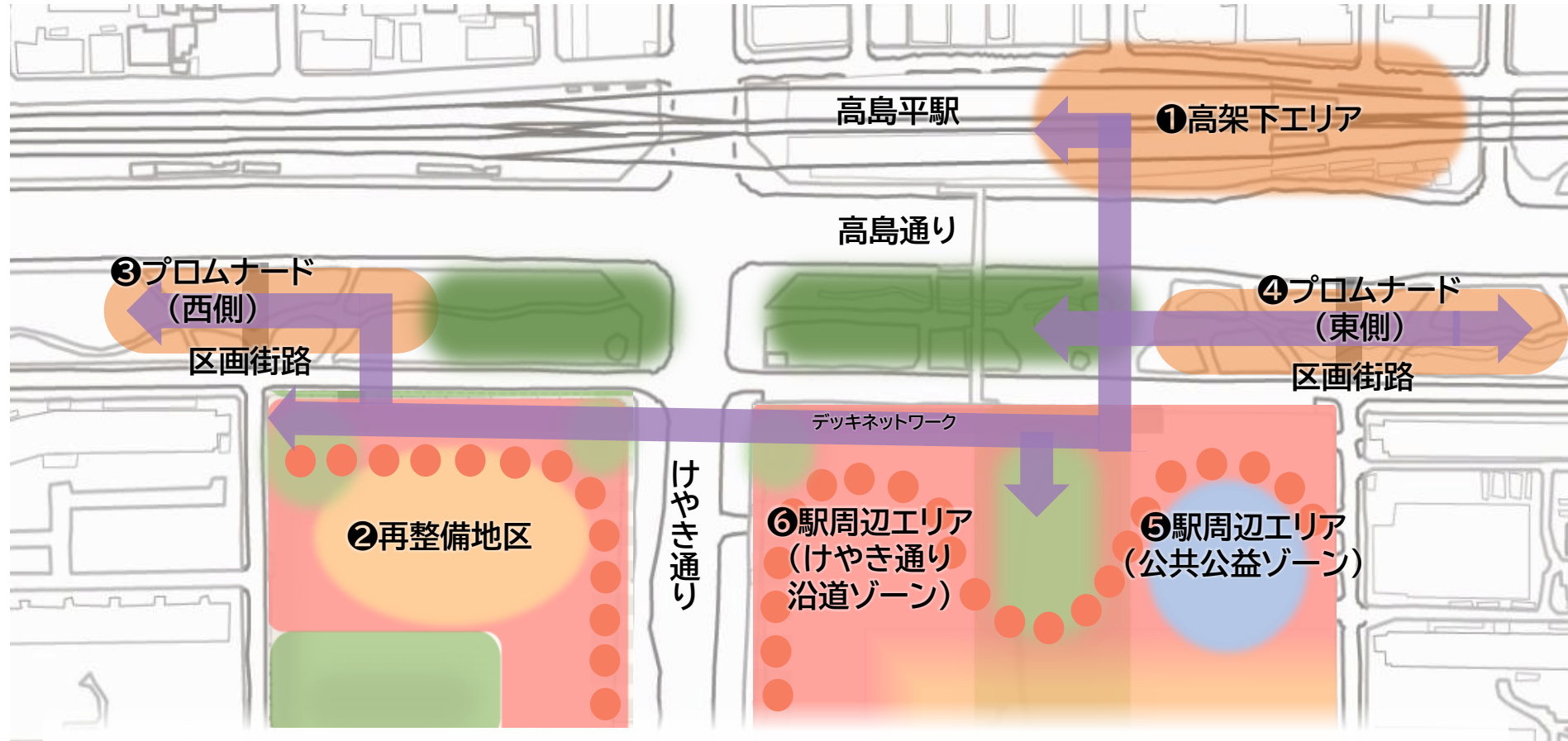
①公共施設の適切な更新

- 1)公共施設の更新による安心・安全な施設の整備
- 2)ユニバーサルデザイン、多言語対応等の実施
- 3)公共施設の相乗効果により、空間の共有・効率化による面積削減
- 4)デジタル技術等を活用した省スペース化の推進
- 5)災害時も活用しやすい公共施設・空間の整備
- 6)環境負荷低減や持続可能な取組に向けた先進的な施設整備の検討

②まちの魅力・価値の向上

- 1)駅前拠点エリアに公共施設機能の集約・複合化
- 2)子育て世帯に選ばれる公共施設機能の配置
- 3)高島平の特徴である屋外空間と一体的な空間整備
- 4)文化・交流活動の場となる公共施設機能の整備
- 5)エリアマネジメント等に資する公共施設機能の整備
- 6)既存の区有施設以外の公共公益施設との連携
- 7)高島平地域内で資源循環させる枠組みの構築と公共施設での積極的な活用

駅前拠点エリアの整備方針



●●●● 屋外に向けたにぎわいの表出

駅前拠点エリアの各エリア・ゾーンの整備方針

①高架下エリア

交流、まちづくり推進機能など

高架下空間を活用したまちづくりに参加したくなる機能を誘導し、改札前空間とデッキネットワークとつなげ、交流を生み出す空間を形成する。

②再整備地区

居住、商業、交流機能など

住み続けられるまちをめざし、連鎖的都市再生の起点として、居住の安定と生活の継続性に寄与しながら、プロムナード(西側)と連携して安心・安全につながる空間を形成する。

③プロムナード(西側)

教育、子育て支援、交流機能など

屋外空間を活かした子どもの体験・遊びを通じて、子どもの学びを支え、興味や感性を育てる場として、緑地と施設が一体となった空間を形成する。

④プロムナード(東側)

交流、公共機能など

生活を支える行政機能の誘導とみどりを活かした空間を形成する。

⑤駅周辺エリア(公共公益ゾーン)

交流、公共、教育機能など

文化的で創造的な活動を支えるホール・図書館、モビリティ等の多様な機能を配置し、プロムナード(東側)と一体的に整備することで、高島平の顔となる空間を形成する。

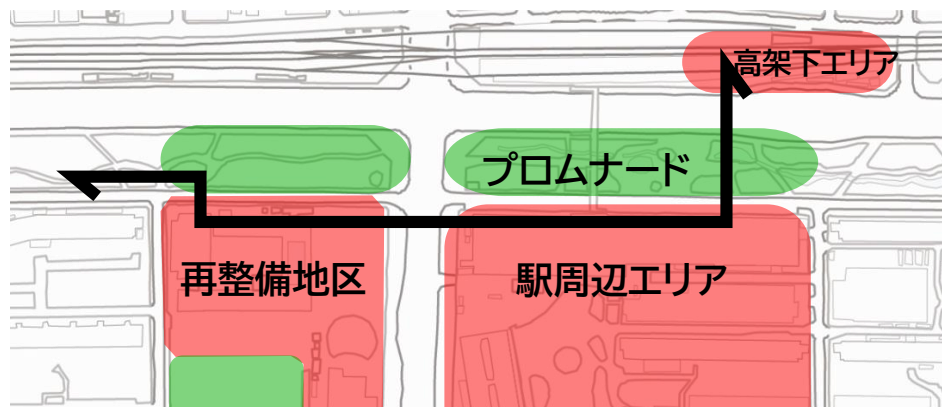
⑥駅周辺エリア(けやき通り沿道ゾーン)

交流、商業、居住機能など

多くの人でにぎわい、楽しく買い物ができる機能を誘導し、多様な人の交流の場となる屋外空間と一体的な空間を形成する。

駅前拠点エリアの断面イメージ

キープラン



浸水想定高さ



都市基盤のイメージ

①ペDESTリアンデッキ (歩行者デッキ)の整備

交流核を一体的につなぎ、ユニバーサルデザインに配慮した、誰もが快適で歩きやすい、多様な機能を持つペDESTリアンデッキを整備する。

安心・安全で移動しやすいまちをめざし、利便性が高く、歩車分離を図りながら交流核の回遊性を高め、水害時には浸水期間であっても避難や物資の運搬に機能するデッキを整備する。

②道路空間の再整備

沿道空間と一体的に、誰もが快適で歩きやすく、居心地が良い、人中心で質の高い道路空間へと再整備する。

③立体的な公園・広場の整備

道路ネットワークの形成と歩車分離を両立し、合わせて水害時の退避場所ともなる、ペDESTリアンデッキと接続する立体的な公園・広場を整備する。

④街区内広場の整備 (駅周辺エリア)

ペDESTリアンデッキを含め、プロムナードと一体となった、災害時にも活用できる街区内広場を整備する。

⑤街区内広場の整備 (再整備地区)

再整備地区の整備に合わせて、災害時にも活用できる、プロムナードと一体的・複層的な空間を形成する街区内広場を整備する。

都市機能のイメージ

⑥プロムナード(西側)

特徴的な屋外空間と再整備地区の低層部分と連携し、子どもの学びの場として、興味や感性を育てる機能を整備する。

⑦再整備地区

低層部には、けやき通り、デッキ、プロムナード側を中心に生活の継続性に配慮した商業機能を配置し、屋外空間と一体的な空間を形成する。中層部以上には、連鎖的都市再生の起点となる住民の居住の安定に資する住まいや、子育て世帯の定住化を促す機能などのミクストコミュニティの実現に向けた居住機能を誘導する。

⑧駅周辺エリア (けやき通り沿道ゾーン)

交流やにぎわいの形成に資する商業機能を中心に誘導し、けやき通り、プロムナード、広場等の屋外空間と一体的な空間を形成する。

⑨駅周辺エリア (公共公益ゾーン)

プロムナード、デッキ、広場側を中心に、文化・交流機能やモビリティ機能等を配置し、屋外空間と一体的な空間を形成する。

⑩高架下エリア

高島平駅の高架下を活用し、まちづくりの情報発信や、まちの魅力向上をさせる機能を配置する。

地区計画による良好なまちの誘導

＜高島平二・三丁目周辺で検討している地区計画＞



高島平二・三丁目周辺(重点地区)の考え方

高島平地域都市再生実施計画に基づき、都市再生を効果的・効率的に進めるため、各地区の特性や状況に合わせて、重点地区から段階的に地区計画を検討します。

第一歩として、本プランに基づき、交流核を中心とした区域で検討を進めますが、三丁目団地では各管理組合の検討状況や合意形成状況に配慮した地区計画の範囲・内容とします。

交流核では、地域の顔となる空間の形成に向けて、連鎖的都市再生の起点となる「再整備地区」・「プロムナード(西側)」を、最も早い段階で地区計画を定める区域として検討していきます。

地区計画のルール(イメージ)

1) 良好な住環境の保全

- ・良好な住環境を害する恐れのある用途の規制
- ・ゆとりのある空間を形成するため建物密度の上限を制限する規制
- ・みどり豊かで良好な住環境の確保する緑化の誘導
- ・まとまった屋外空間の確保を促す建物形態の誘導
- ・災害に強い安心・安全なまちの誘導

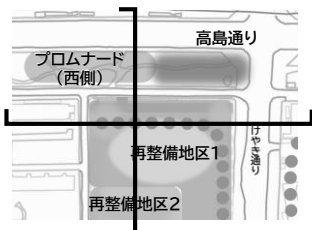
2) 魅力的な都市空間の形成

- ・人中心で、質の高いウォークブルな空間の形成
- ・駅前拠点エリアを形成するため、土地の健全かつ合理的な高度利用を可能にする規制の変更
- ・多様な機能を受け入れる柔軟な土地利用の誘導
- ・歩行者ネットワーク沿いを中心とした景観の形成
- ・デッキネットワーク等の誰もが歩きやすい空間の形成
- ・交流や防災にも寄与する広場等の空間の形成

地区計画による誘導イメージ

キープラン

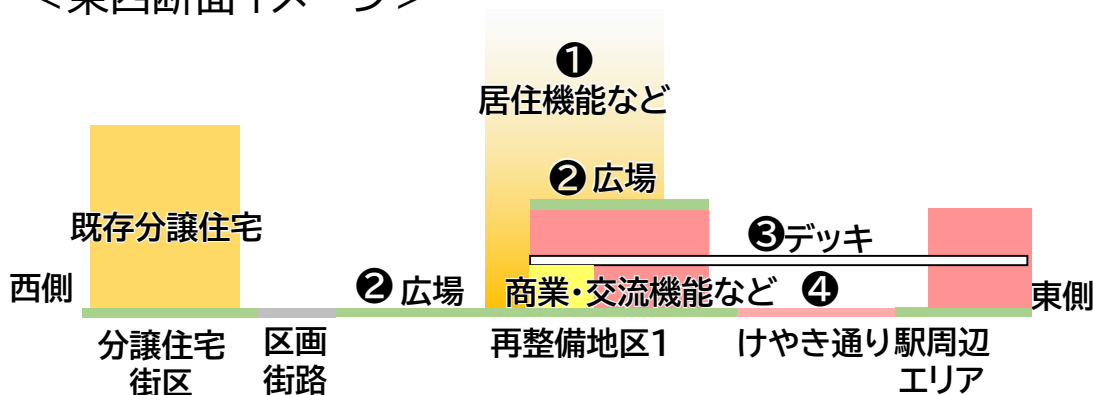
南北断面



東西断面

再整備地区では、連鎖的都市再生の起点となる旧高島第七小学校の限られた土地を有効に活用し、高島平のまちづくりに寄与する多くの地域貢献を実現するため、土地の合理的かつ健全な高度利用を行います。また、周囲の良好な住環境への配慮、豊かなみどりの活用、良好な景観形成に向けて、プロムナード(西側)と一体的に地区計画を策定し、良好なまちを誘導します。

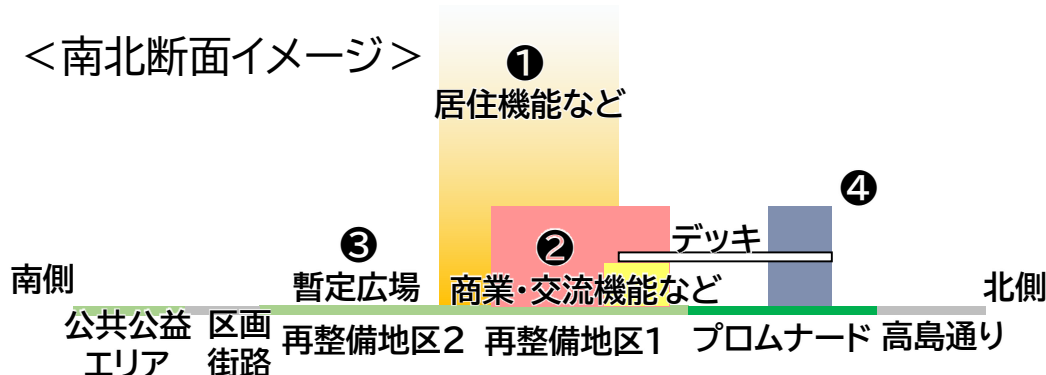
<東西断面イメージ>



東西断面の誘導イメージ

- ①連鎖的都市再生の起点となる、ミクストコミュニティと居住の安定に資する住宅の誘導
- ②交流の場となる校庭の機能の継続と防災にも活用できる複層的な広場等(合計2,000㎡程度)の整備
- ③交流核をつなぐデッキネットワークの構築
- ④人が中心となるウォークブルな道路空間へと再整備

<南北断面イメージ>



南北断面の誘導イメージ

- ①景観や周囲の住環境に配慮しつつ、土地の合理的かつ健全な高度利用による超高層建物(110m程度)の設置
- ②にぎわいの形成と生活の継続性に資するスーパーマーケット等の商業機能の誘導
- ③校庭が担っていた、地域の活動や交流の場となる広場(4,000㎡程度)の整備
- ④豊かなみどりと調和した子育て支援、子どもの学びとなる施設の整備

ウォーカブル(居心地が良く、歩きたくなること)なまちに向けた検討



にぎわいを生み出す空間イメージ
商業施設の沿道空間(立川市)



御堂筋パークレット



出典:御堂筋まちづくりネットワーク

①歩きたくなる空間の創出

(交通計画・駐車場適正配置・地域ルール・基盤整備など)

けやき通りとプロムナードを中心に、「居心地がよく歩きたくなる」ウォーカブルなまちづくりを進めます。

人中心の歩行者に優しいまちにするためには、自動車の交通量の検証や多様なモビリティの活用、適切な駐車場・駐輪場の配置等についても検討が必要です。

高島平の全体像を把握しながら、まちづくりと連携してウォーカブルの実現に向けた検討を進めていきます。

②デザインの調和に向けたルールの検討

道路や公園等の都市基盤や、にぎわいを形成するけやき通り等の道路に面する建物について、統一的なデザインやしつらえを誘導し、高質な空間の形成に必要なルールを検討します。

③公共空間の利活用の促進

プロムナード等の公共空間を最大限に活用するため、適切に公共公益機能を配置しながら、活用しやすい空間へと再整備します。

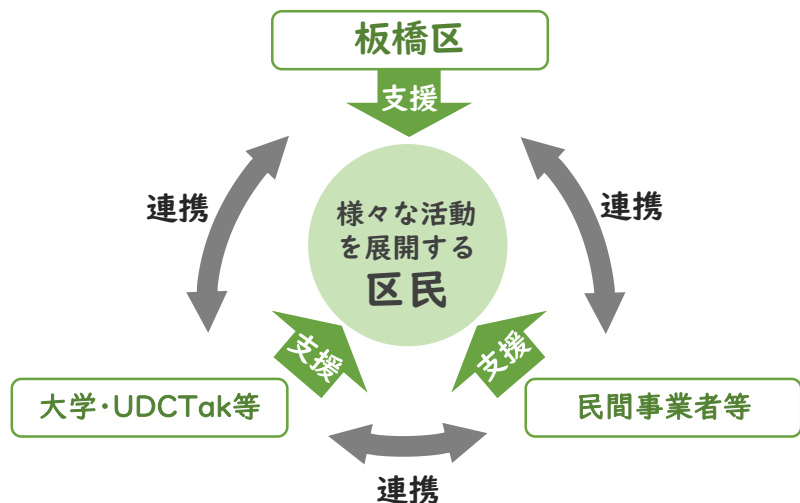
区民の生活の質を高める先端技術の活用

- ①まちづくりのDX 3D都市モデルの活用など、連鎖的都市再生に合わせてデジタルツインを構築するための制度を検討します
- ②高島平でモデル的に展開するDX 実証実験では、浸水深の時系列による変化や避難を開始するタイミングに応じた避難ルートをもとに3D都市モデル状で表現し、浸水範囲の拡大により避難行動が限定される様子を、三次元的に可視化しました。

協働によるまちづくりの推進

多様な主体で目標を共有し、意見やアイデアを集めながら、エリアマネジメント活動を連携して推進します。

まちづくりの推進体制の構築



<交流核の形成に向けた7つの目標>

	目標1 ともに子供や家族を はぐくむまち		目標3 人々がつながり 活気に満ちたまち		目標5 快適に移動できる 便利なまち
	目標2 健康に長生きできる まち		目標4 新たな価値を 共創するまち		目標6 災害に強く安全な まち
	目標7 みどり豊かで 地球にやさしいまち				

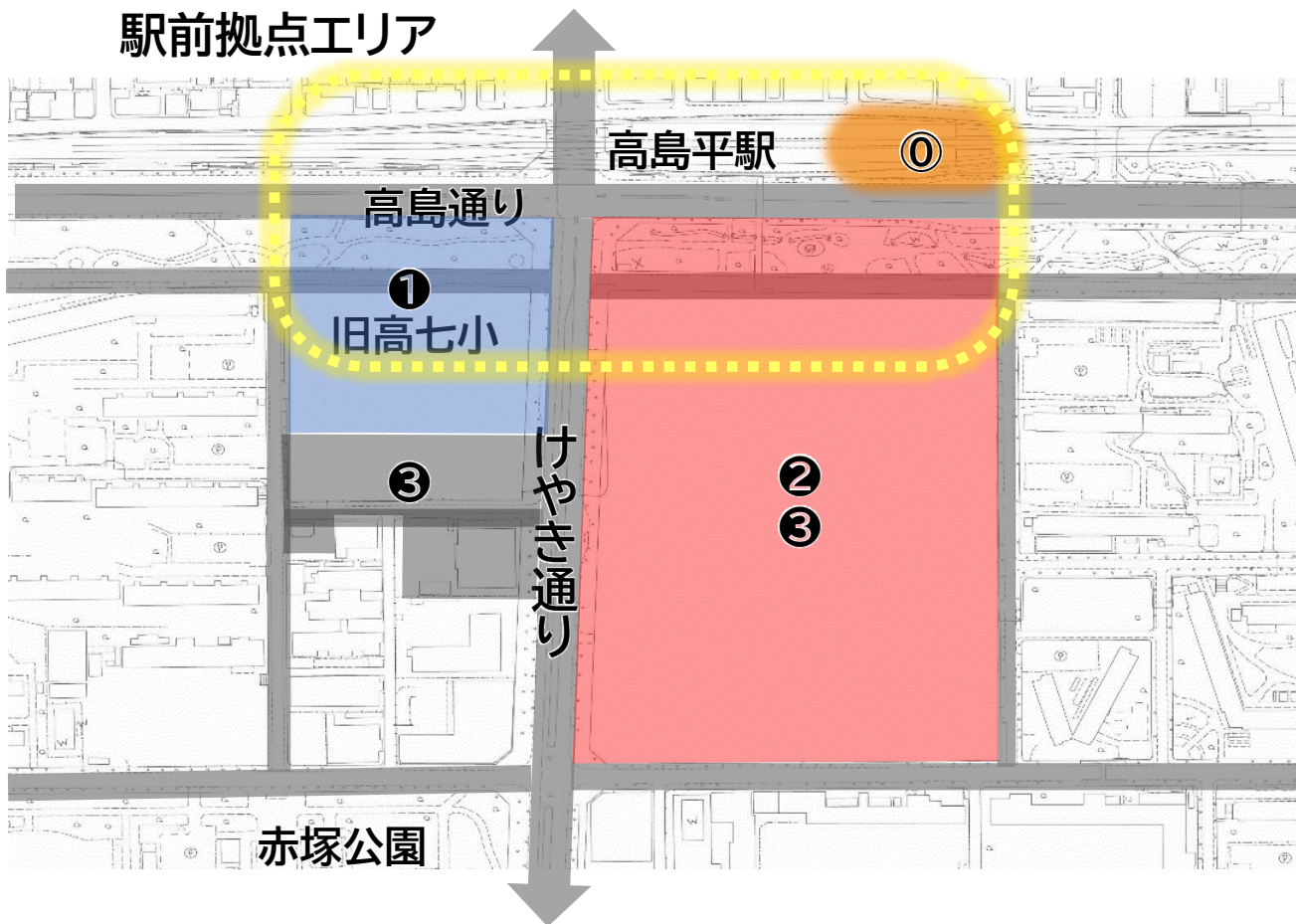
UDCTakを含めたエリアプラットフォームを構築し、活動を担うキーパーソンや民間事業者等の連携を強化し、交流を生み出します。

連鎖的都市再生の考え方

高島平地域の持続的な発展をめざし、連鎖的に都市再生を進める上では、単一的な地域課題の解決だけでなく、社会変化や地域のニーズを踏まえ、段階的に都市機能を強化し、戦略的にまちづくりを進めていきます。

<連鎖的都市再生のステップ図>

駅前拠点エリア



凡例

- ①準備ステップ
(高架下エリアなど)
- ①第1ステップ
(再整備地区など)
- ②第2ステップ
(駅周辺エリアなど)
- ③第3ステップ以降
(再整備地区・駅周辺エリアの一部)

連鎖の展開イメージ

準備ステップ（高架下エリアなど）

都市再生の第一歩として、高島平駅前の高架下空間を活用し、まちづくりの情報発信やまちの魅力を高める機能を配置し、ソフト・ハードの両面から、住民のまちづくりへの期待感を高める取組を推進します。

主な取組

①高架下空間の再整備

高島平のまちづくりの情報発信や、まちの魅力を向上させる交流機能を整備する。

②③④旧高七小・健康福祉センターの解体と道路整備

現機能の移転や工事を安全に実施するための道路の整備など、解体工事に向けた調整等を行い、令和7年度に旧高七小等の解体工事に着手する。

⑤暫定広場の整備

地域の活動や交流の場となる暫定的な広場を整備する。

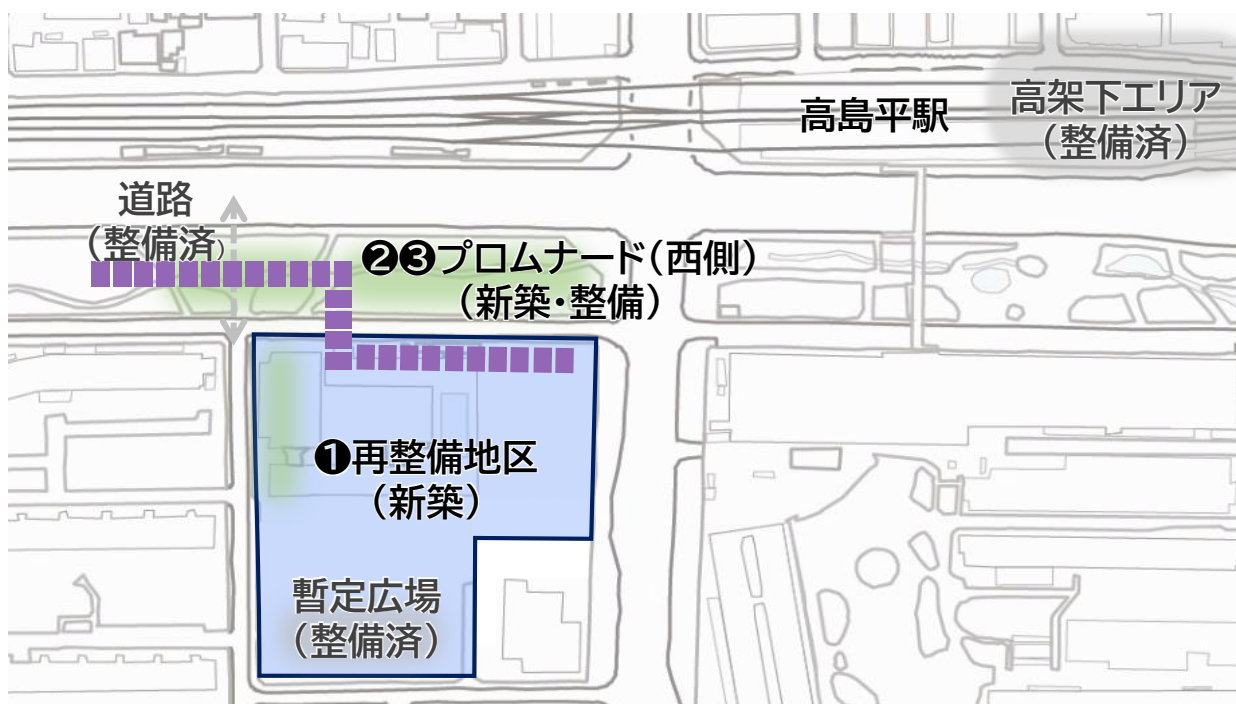


連鎖の展開イメージ

第1ステップ（再整備地区など）

子どもの成長の場であった小学校跡地と緑地空間を活用し、「子育て世帯」をターゲット(主にこれから子育て～未就学児)に、子育てを始めるための機能(子育て・教育環境)の充実や防災性の向上を図ります。

また、居住の安定・生活の継続性に資する機能や多様な世代が住み続けられる機能を配置し、子育て世帯に選ばれ続け、多様な世帯が豊かに住み続けるまちをめざします。



主な取組

①再整備地区の建設工事

多様な世代の定住を支える住宅や生活利便性の向上に資する施設の工事や公共空間と一体となった屋外空間・デッキ等を整備する。

②プロムナード(西側)の再整備

豊かなみどりが連なり、居心地が良く、多世代の交流やにぎわいの場として再整備する。

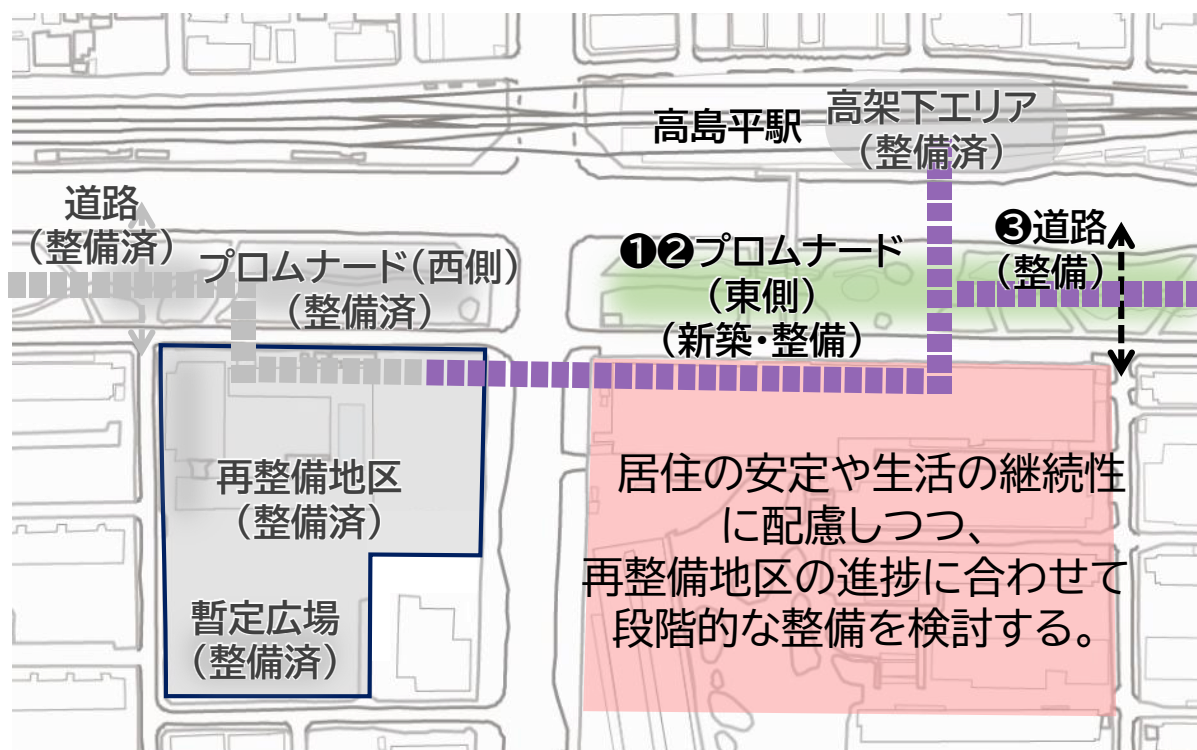
③緑地内での施設等整備

子どもの学びを支え、興味や感性を育てる場として、子育て支援施設や、子どもの体験・遊びを通じて学びとなる施設等を整備する。

連鎖の展開イメージ

第2ステップ（駅周辺エリアなど）

高島平の顔となる魅力的な駅前空間の形成に向けて、豊かな緑地空間を活用しながら、主に交流人口や地域の魅力増大に資する機能、「子育てあせ帯」（主に小学生～高校生）の定住に資する機能や、居住の安定に資する機能を配置することで、様々な活動や交流があふれる、にぎわいの場を創出します。



主な取組

①プロムナード(東側)の再整備

豊かなみどりが連なり、居心地が良く、多世代の交流やにぎわいの場として再整備する。

②③緑地内での施設等整備

ウォーカブルなまちの実現と工事を安全に実施するための道路の整備、生活を支える行政機能の誘導とみどりを活かした空間を整備する。

	G. D. 第1期			G. D. 第2期 R8～R17 (2026～2035)	G. D. 第3期 R18～ (2036～)
	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)		
交流核の事業展開					
駅前拠点エリア	施設・基盤・民間誘導の一体的な詳細検討			連鎖的都市再生の進展に合わせて、エリア全体の一体的な検討深度化と各ステップの事業展開への反映	
準備ステップ ・高架下エリア ・再整備地区	高架下の活用に向けた調整			改修工事	施設運営・高架下空間活用
	暫定広場の整備に向けた調整			整備工事	広場活用
	旧高七小等の既存施設解体の調整			解体工事	
第1ステップ ・再整備地区 (プロムナード(西側)を含む)	プロムナード再整備等に向けた検討・調整			整備工事	
	施設計画の検討			建設工事	
第2ステップ ・駅周辺エリア (プロムナード(東側)を含む)	プロムナード再整備等に向けた検討・調整			整備工事	
	再整備地区の進捗状況に合わせて検討			段階的に整備	

※表のG. D. は高島平地域グランドデザインを指す

1) 『高島平地域 交流核形成 まちづくりプラン』
(案)について

2) ご意見の募集について(パブリックコメント)

3) 区・URからお知らせ

板橋区ホームページのご案内



← 高島平地域
交流核形成
まちづくりプラン
のページ

パブリック →
コメント
のページ



(1)対象者

- ・区内在住・在勤・在学の方
- ・区内に事務所・事業所を有する個人・法人・各種団体
- ・区内で活動する個人・法人・各種団体

(2)提出期間

令和6年1月26日(金)～2月16日(金)【必着】

(3)記入事項

※任意の用紙・形式で提出できますが、様式をご用意しています

- ①住所
- ②氏名(ふりがな)
- ③電話番号
- ④法人・各種団体の場合は、その所在地・代表者氏名
- ⑤区内在勤・在学の場合は、勤務先・学校名とその所在地
- ⑥区内で活動する個人・法人・各種団体は、その活動内容
- ⑦交流核形成まちづくりプラン(案)に対する意見の内容

(4)提出方法

板橋区 高島平まちづくり推進課へ
直接または郵送・FAX・Eメール・ホームページ
【郵送先】〒173-8501 板橋区板橋2-66-1
【FAX】03-3579-5436
【Eメール】takamachi@city.itabashi.tokyo.jp

- 1) 『高島平地域 交流核形成 まちづくりプラン』
(案)について
- 2) ご意見の募集について(パブリックコメント)
- 3) 区・URからお知らせ

板橋区ホームページのご案内



← 高島平地域
交流核形成
まちづくりプラン
のページ

パブリック →
コメント
のページ



【開催済】

ウェルフェアの発展に向けた連携協定に基づく

「囲碁で頭の体操 ココからペア碁入門教室」

令和5年10月から団地集会所にて全12回 約30名の方が受講し、25級相当に上達されました。
なお、NHK出版『囲碁講座』からの取材があり、令和6年2月号テキストに掲載されています。



主催：東京都健康長寿医療センター研究所

【開催済】

民間主体との共創活動による公共空間活用の試行

「高島平ポットラック」

令和5年11月に高島平緑地内において、地域のみなで「得意」を持ち寄り、まちの豊かさと多様性の実感・発信と自己実現をめざす、地域主体の新しいイベントが開催されました。



共催：高島平ポットラック・板橋区

【開催済】

「団地で遊ぼう！ 高島平ランニングバイクPARK」

令和5年12月にUR高島平団地内の広場で開催し、こどもを中心に100名超が参加。子育て世代へのまちづくりアンケートも実施し、今後のまちづくりに生かしていきます。



主催：UR都市機構

【開催中】

「高島平まちづくりギャラリー」

高島平のまちづくりに関する情報発信を含め、みなさまと一緒に楽しめる「成長する展示」を目指していますのでぜひお立ち寄りください。



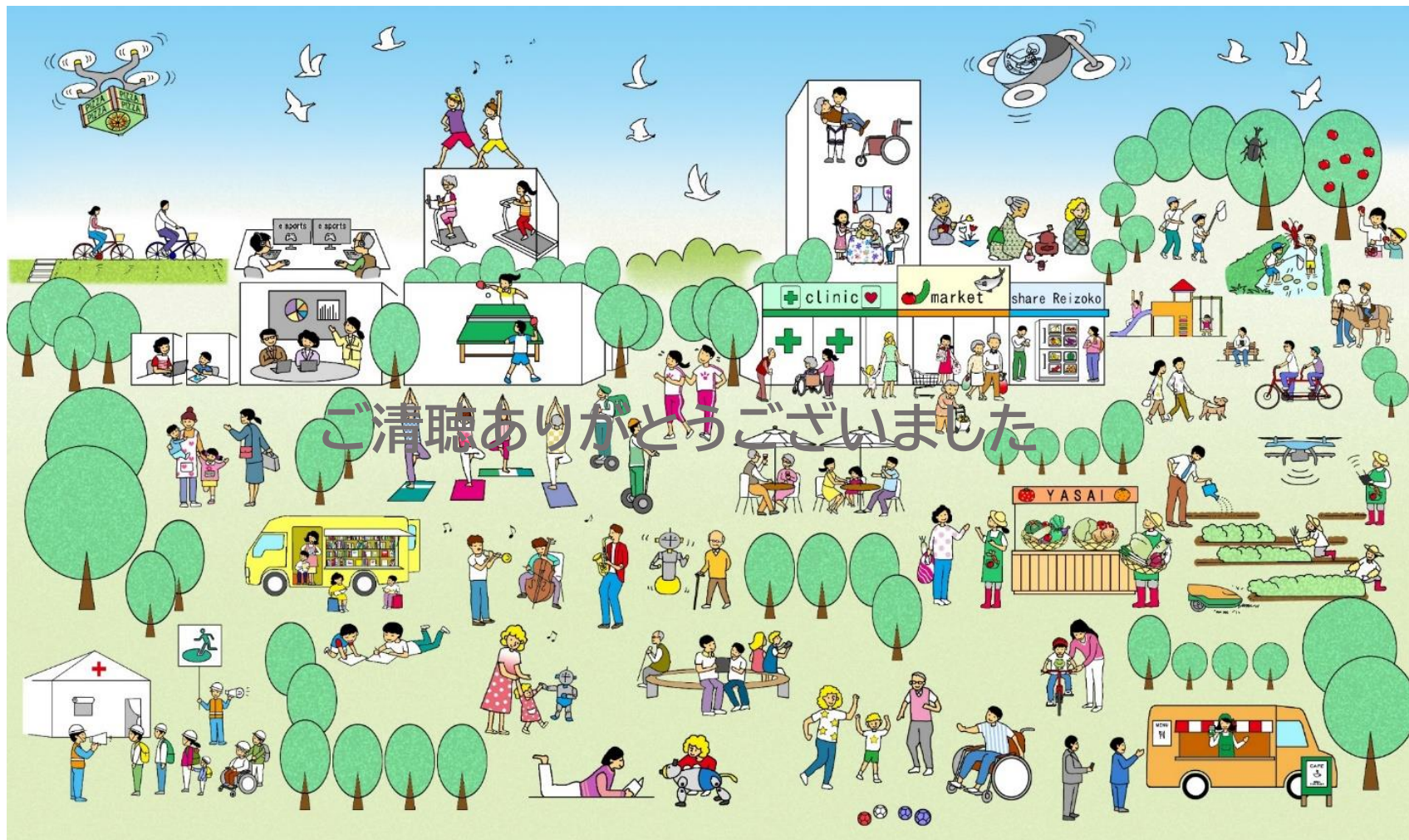
○開催概要

期間: 令和6年1月6日から令和6年2月25日まで
(図書館開館時間内)

場所: 高島平図書館1階コミュニティースペース

内容: 高島平まちづくりに関する展示

主催: 板橋区 高島平まちづくり推進課



ご意見・ご質問